

昨年11月6日に伊都国歴史博物館前の駐車場にて九州大学農学部を中心に、エコフィード事業の推進に力を入れているコンサルタント会社それに前原市の農政課が協力して行われたものです。この方法は「油温減圧乾燥法」といわれるもので、家庭で行う天ぷらを揚げる原理を応用したものです。原料となる残飯等を天ぷら鍋にかわる油の入ったタンク内で揚げ、含まれる水分を完全に除去乾燥粉砕して飼料にするというものです。実際出来上がった飼料を児童たちがアイガモに食べさせるとおいしそうに食べていました。

日本の面積は約3,779万ヘクタールでそのうち約67%が森林原野です。農地はわずか13%の約469万ヘクタールに減少しています。食料自給率は先進国中最低の40%で、飼料自給率になるともっと低く24%しかありません。

食料自給率を100%にしようとするると農地は約1,200万ヘクタール必要となります。それは現実的に無理だから足りない農地を外国から借りて我々の食生活を支えていると言えるのです。飼料についても同様です。

飼料自給率向上対策として、又資源循環によるムダの削減のためにもこのエコフィード（食品残さの飼料化）の事業化推進は必要不可欠であり、与えられた責務だと思えます。

来年1月1日からスタートする糸島市は「人と自然と文化を生かした協働のまちづくり」を基本理念におき、7つの基本戦略（①みんなが健康で元気なまちづくり ②子どもが健やかに育つまちづくり ③海・山・川を大切にしまちづくり ④快適に暮らすことができる安全・安心のまちづくり ⑤みんなの力で進める協働のまちづくり ⑥経営感覚を持った持続可能なまちづくり ⑦地域資源を生かした産業創出のまちづくり）で、合併して良かったといわれるまちを目指します。私も精一杯努力し頑張っていきます。

ご案内 **市政報告会・新春のつどい**
平成21年1月24日(土) 午後6時30分より
場所：浦志公民館 会費：1,000円

元気な前原・住みたい前原にするために、皆様のご意見、ご要望をお聞かせください。

小島忠義事務所 TEL(092)322-0155
 〒819-1112 福岡県前原市浦志二丁目5-20 FAX(092)322-4900
 E-mail:kojima-tadayoshi@iwa.bbq.jp

小島忠義の **“かけ橋”**
議会通信 Vol.9



賀



あけましておめでとうございます。
 米国のサブプライムローンに端を発した金融危機は、またたく間に全世界に波及し、未曾有の経済不況に落としきれしております。

非正規社員、パート従業員の契約打ち切りや解雇又就職内定者の取り消し等が続発しております。

消費低迷による企業業績の悪化で、あのトヨタでさえも今期は営業赤字に転落するという報道もなされています。

今までに経験したことがない程の大不況の到来が予想される中、今こそ政治の力が問われています。

「糸島市」誕生が決定！

このような暗いニュースばかりの中、懸案の一市二町合併による新市「糸島市」が正式に発足することが決まりました。

皆様も既にご存知のように昨年12月の定例議会で、前原市、志摩町、二丈町の各議会において合併に関する議案の採決を行い全ての議会とも賛成多数で可決しました。

これを受けて来年、平成22年1月1日を持ちまして糸島市が誕生します。

福岡県内で7番目の人口規模（約100,500人）で面積は約216.1km²（前原市の約2倍）で5番目、そして財政規模（H19年度の一般会計の総額）は柳川市を超え宗像市に次ぐ8番目の市となります。

合併により人件費（特別職、議員・職員）を始め、多岐にわたる経費の削減が可能になり、10年間で約204億円もの削減効果が見込まれています。

